

一般社団法人 日本画像認識協会

次世代防犯カメラ技術研究専門委員会開催通知
(4K・8K防犯カメラ技術研究専門委員会)

2016年12月26日



一般社団法人 日本画像認識協会
Japan Image Analysis Association

次世代防犯カメラ技術研究専門委員会開催通知

- **研究テーマ**
次世代の防犯カメラとして期待されている4K解像度の防犯カメラの配信、画像認識技術を利用した利活用について研究を行う。
- **研究分野**
 - ・ 4K防犯カメラの配信方法（ネットワーク活用）調査研究
 - ・ 4K防犯カメラを利用した画像認識技術調査研究
 - ・ 4K防犯カメラを用いたアプリケーション調査研究
- **委員長 藤井哲郎教授**
東京都市大学 大学院環境情報学研究科長
東京都市大学 メディア情報学部 情報システム学科 教授
- **会議**
2017年2月17日（金） 15時～17時
場所：アットビジネスセンター 2階 202会議室
東京都中央区京橋1-11-2 八重洲MIDビル
- **キ会議出席希望につきましては、2月1日までに事務局
本玉までメール（yasukazu.hontama@jniaa.com）にてご連絡をお願いします。**

本日のアジェンダ

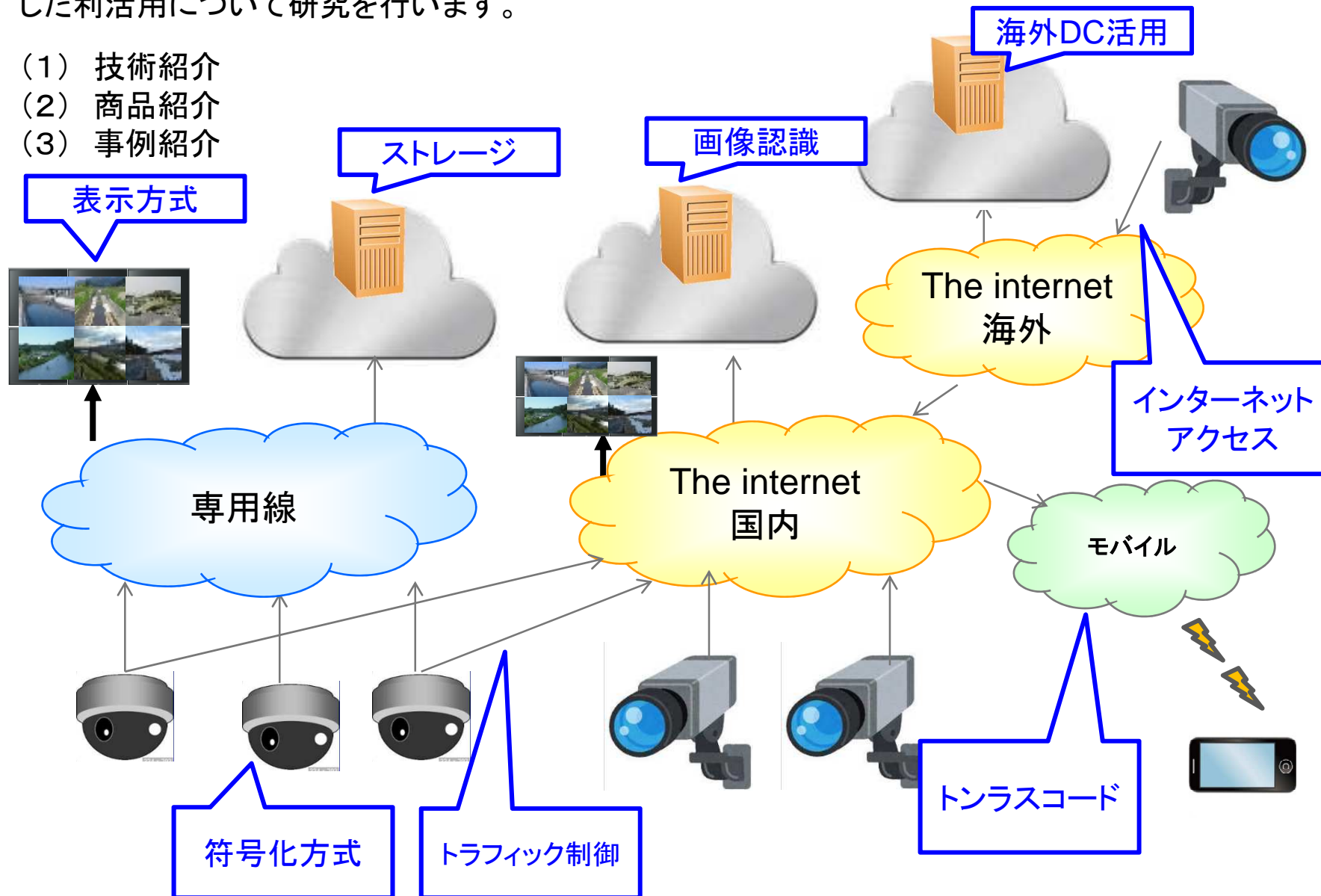
- (1) 15時15分～16時15分
テーマ: **画像処理の活用による映像IoTの状況 (仮称)**
講師: 東京都市大学教授 藤井哲郎

- (2) 16時15分～16時45分
テーマ: **映像IoTをサポートする技術のご紹介 (仮称)**
講師: ネットワンシステムズ 平尾 大様

次世代防犯カメラ研究専門委員会の研究テーマ

次世代の防犯カメラとして期待されている4K解像度の防犯カメラの配信、画像認識技術を利用した利活用について研究を行います。

- (1) 技術紹介
- (2) 商品紹介
- (3) 事例紹介

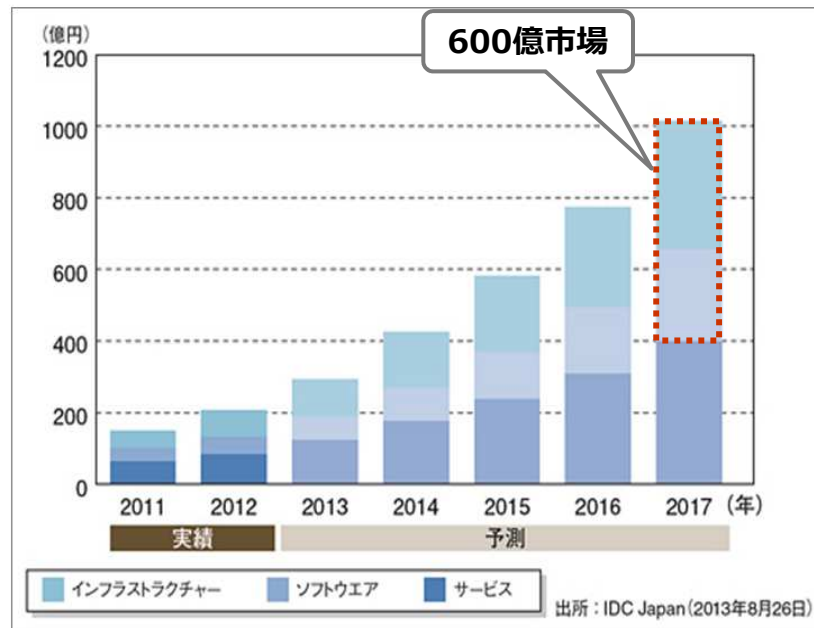


画像処理を活用による映像IOTの状況

市場環境

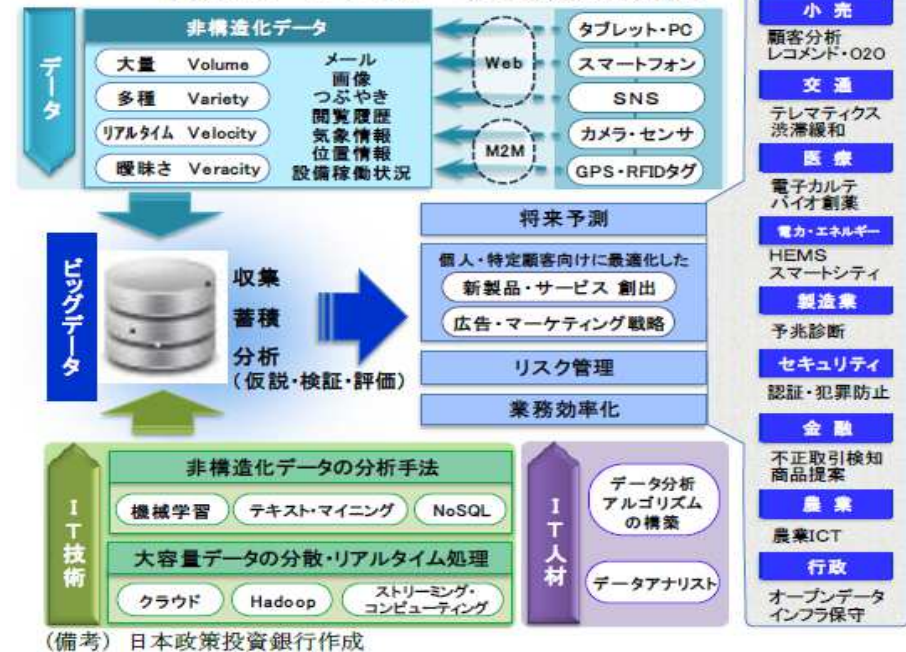
- カメラの高画質化（4K）、低価格化によりカメラをセンサーとして用いることが可能となった。
- 機械学習やディープラーニングにより画像認識技術の向上がもたらされている
- IoTがもたらした新たなネットワーク（NB-LTE等）やスマートデバイスの進化により、入手できるビッグデータの多様性も増加し、従来では分析対象外であった映像や音声などの非構造データにも新たな価値を見出すことでビジネスの拡大の可能性が高まっている（画像センサー/音声センサーによるメタデータ抽出）

国内映像ビッグデータ市場



国内ビッグデータテクノロジー/サービス市場額

図表1-2 ビッグデータ概念と利活用



アットビジネスセンター東京駅

■ 東京駅(八重洲中央口)より徒歩6分

